

9月定例報告

市長総括説明から

8月30日、平成25年第4回市議会定例会が開会しました。市長は新庁舎開庁と豊岡エキシビジョンについて述べた後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて説明しました。

安全に安心して暮らせるまち

○豊岡防災公園の整備拡充
緊急用災害資材置き場などが不足しているため、今後隣接地の買収、倉庫棟の実施設計を行い、来年度に整備工事を実施します。

○豊岡健康福祉センター利用計画
豊岡健康福祉センターは、仮庁舎として使用してきましたが、新庁舎にその機能が移転したため、空きスペースを有効利用するべく利用計画を策定しました。

○第2あすなろ苑の活用
第2あすなろ苑は、特定非

営利活動法人豊岡市手をつなぐ育成会への使用貸借期間を来年3月31日まで延長し、その後利用する障害福祉サービス事業者を公募します。

締結した日高町堀の市遊休地は12月に発電開始予定です。
○豊岡市生物多様性地域戦略
「豊岡市生物多様性地域戦略」を策定しました。戦略期間は15年間、目標は「穏やかに響きあう いのちと地域」で、実践の地域単位を「小学校区」にしています。

○北但ごみ処理施設整備事業
北但ごみ処理施設整備・運営事業者は、タクマガグループに決定しました。

「持続可能な力」を高めるまち
○アンテナショップ
アンテナショップ「コウノトリの恵み豊岡」は、オープン2年目の昨年7月から今年6月までを前年と比較すると総売上高は34・2パーセントアップ、来客数も31・7パーセントアップしました。

○海岸漂着物地域対策推進事業
海岸漂着物地域対策推進事業で、美しい海岸の創出を目指します。今年度は竹野と港地域の海岸で実施します。

○ジオツアーバスの運行
ジオツアーバス補助制度の平成24年度の実績は、利用バス台数が82台、延べ人数が2860人で、共に前年度よりアップしました。本年度はさらに好調です。また、来春以降の旅行代理店などへの営業活動のため、補助事業の債務負担行為の補正予算を提出しています。

○大規模太陽光発電事業
「豊岡エコバレー・山宮地場ソーラー」の、発電開始から8カ月間の発電量は、想定量の110・2パーセントで、売電収入は約2千万円となります。

○豊岡農業スクール
本市の農業を担う農業者を

○第二期事業は、売電開始が9月から10月中旬に変更になりました。

○中心市街地活性化事業
まちなかステーションに、情報提供や地場産品販売のショップを設置し、イベントに利用できる多目的スペースを整備します。10月に整備工事に着手し、来年2月のオープンを目指します。

○豊岡健康福祉センター利用計画
豊岡健康福祉センターは、仮庁舎として使用してきましたが、新庁舎にその機能が移転したため、空きスペースを有効利用するべく利用計画を策定しました。

○国道426号豊岡バイパスの開通
平成14年度に着手された豊岡バイパスは、11月末に全線完成予定です。全線開通により、公立豊岡病院への患者の搬送時間の短縮、また計画中の北近畿豊岡自動車道へのアクセスの向上が期待されます。

○豊岡健康福祉センター利用計画
豊岡健康福祉センターは、仮庁舎として使用してきましたが、新庁舎にその機能が移転したため、空きスペースを有効利用するべく利用計画を策定しました。

○コウノトリ但馬空港の下期ダイヤ
今年12月から来年1月6日

○豊岡健康福祉センター利用計画
豊岡健康福祉センターは、仮庁舎として使用してきましたが、新庁舎にその機能が移転したため、空きスペースを有効利用するべく利用計画を策定しました。

○豊岡健康福祉センター利用計画
豊岡健康福祉センターは、仮庁舎として使用してきましたが、新庁舎にその機能が移転したため、空きスペースを有効利用するべく利用計画を策定しました。

までは、利用率が大変厳しい結果となった昨年と同様のダイヤ改正となります。

市は、来年1月7日以降は、利便性が確保できるダイヤ改正となるよう交渉を続けます。

### ○全但バス神鍋線の 上限200円バス社会実験

4月からスタートした第二期社会実験の4月から7月末までの利用者数は3万4315人で、第1期の実験結果より増加しましたが、目標の4万4444人に対しては84.8パーセントの達成率です。

### ○合橋地区のチクタク運行

「チクタク」は市の支援を受けて運行する地域主体の公共交通です。現在、出石町奥山地区の「チクタク奥山」、出石町小野地区の「チクタクひばこ」、但東町資母地区の「チクタク資母」の3路線で運行しており、いずれも多くの利用者があります。

新たに、但東町合橋地区の「チクタク」の今冬運行開始を目指しています。

### ○椒地域ふるさと生きがい センターの活用

椒地域ふるさと生きがいセンターは、地域資源を活用し

た若者の就労支援事業に利用しています。具体的には、職業訓練を受けた卒業生らが、森林資源を次世代に残す山づくり事業を行います。

また、対人関係が苦手な人などが地域社会活動に参加できるように支援する地域活動支援センター事業も行います。

### ■未来を拓く人を育むまち

### ○豊岡市子ども・子育て会議 の設置

昨年8月に法が公布され、平成27年4月から子ども・子育て支援を総合的に推進する新制度に移行します。移行に際しては、市の「子ども・子育て支援事業計画」を策定する必要があります。この計画策定や施策の実施状況などを調査審議する機関として、「豊岡市子ども・子育て会議」を設置します。

### ○奈佐幼稚園跡地利用計画

奈佐幼稚園と五荘幼稚園を統廃合し、今年4月に「五荘奈佐幼稚園」を開園しました。奈佐幼稚園跡地は、当面、奈佐地区に5年間の期限で無償貸与し、維持管理費は地元負担とすることで地域と協議を進めています。

県警察本部では、老朽化した奈佐駐在所の移転候補地として奈佐幼稚園跡地を検討されていると聞いています。

### ○(仮称)西気・清滝 認定こども園の整備

豊岡市が指定管理で運営する西気保育園・清滝保育園と、市の清滝幼稚園の3園を統合した(仮称)西気・清滝認定こども園を、平成27年4月から豊岡市が設置運営することについて、同会と地域の理解が得られました。

### ○森本中学校の統合

竹野南地区区長会長、森本中学校PTA会長から、森本中学校の統合に関する要望書が提出されました。今後、統合に向けて「(仮称)豊岡市立森本中学校統合検討委員会」を設置し、調整、協議を進めます。

### ■人生を楽しむお互いを 支え合うまち

### ○豊岡市民会館の リニューアル

豊岡市民会館の大規模なリニューアル工事を11月下旬から来年6月末にかけて順次施工する予定です。内容は、耐震補強工事、外壁補修、トイ

レ改修、会議室床面張替などのほか、ホール音響改善、楽屋改修などです。

### ○豊岡市プラザ10周年 記念事業

豊岡市民プラザの10周年を記念し、新作能「田道間守(ときま)の制作・上演を行います。作品制作は、京都観世流能楽師田茂井廣道さんに依頼し、来年3月1日に京都観世流の一流の能楽師による公演を予定しています。

### ■市政の運営

### ○北但1市5町新市建設計画 の変更

インフラ整備に合併特別債を活用するには、新市建設計画に掲載され、計画期間内に事業を実施することが条件です。合併特別債の発行期限延長措置に伴い、新市建設計画の期間を現行の10年間から16年間に延長し、期限延長後も合併特別債を有効活用するために財政計画を変更します。

### ○普通交付税の算定方法の 見直し要請

「豊岡市長期財政見通し」では、平成31年度以降は歳入歳出差引が赤字となり、平成33年度には約17億円の赤字が見

込まれます。

また、市町合併に伴い、旧市町域ごとに支所を設置し、消防署・消防団の配備、公民館などを配置して、災害への備えやコミュニティ維持に努めています。しかし、現在の交付税制度では、それが確実に反映されていないため、国に交付税算定方法の見直しを要請し、財源確保に努めます。

### ○新庁舎、議場および 豊岡稽古堂の活用促進事業

新庁舎や議場、豊岡稽古堂の活用策として、今年11月から来年6月までの8カ月間、月2回、合計16回程度のまちづくりや寄与するイベントなどを募集します。使用料を無料にし、内容によっては経費の一部を上限5万円の範囲で助成します。

### ○新庁舎建設事業

9月から、新庁舎周辺の外構工事が始まります。北・南庁舎、東庁舎別館を解体し、新庁舎北側には駐車場と駐輪場、防火水槽を、新庁舎南側には芝生広場と防火水槽を、東庁舎別館跡地には駐車場と駐輪場を整備します。

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。